

2021年 1月 3日 主日礼拝

司式：齋藤長老

奏楽：村上

*讃美歌は声を出さずに心の中で歌いましょう。

《神のみ前に近づく》

前奏

序詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の
交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 367-1節 (偉大なみ神の)

罪の告白 (声を張り上げないで共に祈ります)

父なる神さま、新しい年を与えてくださり心より
感謝します。どうか、この年も礼拝から礼拝へと
歩み重ねて行く日々でありますように。

主よ、この教会のこの一年の歩みを守ってくだ
さいますように。何より、礼拝と集会を続けて行
くことが許されますように。あなたを高らかに讃
美する声を取り戻すことが出来ますように。この
教会に連なるすべての人を守り、導いてください。
私たちの弱さを憐れみ、日々犯すであろう愚かな
罪を赦して下さいますように。

「あなたを導かれる方は

もはや隠れておられることはなく

あなたの目は常に

あなたを導かれる方を見る。」

(イザヤ書 30:20)

*しばらく黙禱の時をもちます

主よ、私たちの心と体を生き返らせ、喜びで満た
してください。御名によって祈ります。アーメン

讃美歌 32-1節 (キリエ)

赦しの確認と保証 (司式者のみ)

主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。

*司式者がローマ書5章6-9節を朗読します。

アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖書

申命記 13章2-6節 (旧p302)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヨハネの黙示録 13章11-18節 (新p467)

これはキリストの福音です

主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り (司式者)

讃美歌 368-1節 (新しい年を迎えて)

説教

『黙示録④ — けだものの刻印』

祝福の祈り

武田真治牧師

《神への応答》

讃美歌 529-1節 (主よ、わが身を)

献金

奉仕者：柿澤 勝村

とりなしの祈り (司式者)

主の祈り 93-5 =ともに祈りましょう

報告

讃美歌 88 (心に愛を)

祝祷

武田真治牧師

後奏

報告と退場

受付：松田 森本 礼拝：岩井長老

お茶の会 当分の間休会です。

＜先週の説教から＞

『詩編⑬ — 主よ、いつまでですか？』

詩編 13:1-6 ローマの信徒への手紙 8:34-38

詩編には色々なタイプの歌や祈りがありますが、
この詩編は《個人の嘆きの歌 (一人の信仰者が救いを
求める祈り)》です。私には、現在のコロナ禍の状況
にある私たちに通じる祈りであると思えます。

いきなり「いつまで、主よ、わたしを忘れておら
れるのか。」と神様に挑みかかるような問い掛けか
ら始まります。しかもその後もこの「いつまで〜で
すか」という問い掛けが3回続きます。いつまでこ
の苦しみや悩みが続くのだろうかという思いは私
たちも度々感じることはないでしょうか。特にコ
ロナの感染がいつ終息するのか、むしろ悪くなっ
ているのではないかと焦ります。どうして神様はこの
状況を変えてくれないのかと問わずにおれません。

ある解説者が、この問い掛けは神様とそして他者
との距離を感じている者の言葉だと述べています。
今の私たちも予防のために他人との距離を保つよ
うに促されています。これはしかし、結果的に他者
との不信感を生み、さらには神様をも遠い存在に感
じてしまうようになる恐れがあると言い得ます。

このような状態を打破するために、この詩編の祈
り手は「主よ、わたしに答え、わたしの目に光を与
えてください。」と願っています。目の光とは、そ
れがあれば活力を持って生きていける希望や目標
のことです。これからの歩みに希望や生きがいを与
えてくれるなら、神様を身近に感じる事ができ、
周囲の状況も受け止めていけると。その通りだと思
わされます。自分の考えや力だけでは希望が見えな
い時に、思ってみなかつた形で光が見えることがあ
ります。それこそ神様が備えてくださった希望でし
ょう。与えられることを信じ、前向きに生きたい！

本日の集会 礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後：・長老会